

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【記入方法】

- 複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに、管理者が介護職員と協議の上記入してください。
- 次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。
項目番号23 ○初期に築く本人との信頼関係
項目番号24 ○初期に築く家族との信頼関係
項目番号25 ○初期対応の見極めと支援
項目番号26 ○馴染みながらのサービス利用
項目番号39 ○事業所の多機能性を活かした支援
- 次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。
項目番号53 ○身だしなみやおしゃれの支援
項目番号59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援
項目番号60 ○お金の所持や使うことの支援
項目番号61 ○日常的な外出支援
項目番号62 ○普段行けない場所への外出支援
項目番号63 ○電話や手紙の支援
項目番号64 ○家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

- 管理者＝指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員＝「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 _____ グループホームもも太郎さん谷田川 _____

(ユニット名) _____

記入者(管理者)
氏名 _____ 計画作成担当者 石幡 遥香 _____

評価完了日 _____ 平成21年2月24日 _____

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で地域密着型の理念を作り上げた。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念を理解しケアにあたっている。	今後も理念の共有に努めていきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念について地域、家族にも話している。	○ 事業所独自の理念を地域に着目して作っていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域行事がある時には参加させて頂けるようお願いに出向いている。顔を合わせた時には挨拶をし立ち寄って頂けるような声かけ、きっかけ作りをしている。	気軽に付き合っていける方法を模索中。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事には参加している。(ゴミ拾い・敬老会等)	総会や地域行事には積極的に参加したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域にどのくらいの高齢者がいるのかなどの把握から努めたい。	○	もっと外に目を向け自分達ができる事、事業所としての持てる力を活かし地域貢献をしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々のケアを振り返る良い機会になっている。		評価を活かし全職員で良い方向へと向かっていけるチャンスかと思われる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	地域の方の意見を聞ける良い機会となっている。施設をもっと知って頂けるような会議を心がけている。	○	地域の方々にもっと施設内容を知って頂き意見を出して頂けるような関係作りに取り組んでいきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	相談員の受入れ体制をとり情報の提供を通してアイデアを提供して頂く等、質の向上に努めている。		今後も協力を得ながらすすめていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	支援している。円滑にすすめられるよう話し合いの場を多くもつよう努めている。		全職員が学べるよう研修や勉強会への参加をしていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法への認知がまだ低いのが現状だが、研修への参加を通して知識を持ち取り組むよう努めている。	○	全職員が理解し取り組めるよう研修、勉強会へ積極的に参加し見逃さないよう努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の前には見学に来て頂き、施設の内容を説明している。家族・利用者の方に不安なく入居して頂けるよう努めている。	○	なるべく利用者の方にも見学に来て頂き、入居前に本人の不安などについても話し合う機会をもち安心して入居できる環境を整えていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見や希望には出来るだけ応えるよう努めている。		全利用者が他利用者・職員に気兼ねすることなく意見等を出せるような関係作りをしていきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月もしくは2ヶ月に1度、新聞を作成し最近の利用者の写真と一緒に郵送している。	○	新聞郵送は続けていきたい。1ヶ月に1度は家族へ連絡し直接職員の口から利用者の様子を伝えていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会等の機会に会話はするが気軽に意見を出していただけてはいない。	○	遠慮なく意見等を出して頂けるような環境、雰囲気作りを努めていきたい。意見を出して頂いた際には運営に反映できるよう努力していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にミーティングを開き意見を出せる環境作りに努めている。		個人的に意見を聞ける機会も作っていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	あらかじめ予定を組み勤務調整を行っている。		利用者、家族に迷惑をかける事がないよう調整に努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	配慮している。		異動や離職の際にはショック軽減に努めていきたい。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修があれば希望者、声かけにて参加を心がけている。 研修の時間確保が十分でないのが現状。	○	あらかじめ予定を組み研修に参加しスキルアップの機会を設ける。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修を通し交流の機会を作れるよう努めている。	○	他事業所との交流を通し職員だけでなく施設全体の向上に努めていきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員は勤務終了後、速やかに退勤できるようになってきたが管理者はなかなか退勤できない時がある。	○	業務分担をし出来るだけ職員全員が時間で退勤できるよう努めていきたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修への参加や他施設との交流を通して向上心を持ってケアにあたるよう配慮している。		各自モチベーションを上げてケアにあたるよう今後も取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	世代の違いに考慮しながら家事を一緒に行い利用者から生活の知恵を教わっている。	今後も続けていく。共に生活している事を意識し学ぶ姿勢を大切にする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時等に本人について会話しているが、まだ十分ではない。	○	家族が足を運びやすくなる様、遠慮なく意見を出して頂ける様な環境作りに努めていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活歴、情報の共有に努めている。 家族の絆を大切に毎月、写真や新聞を送るなどし良い関係の継続に努めている。		これからも良い関係が継続できるよう努めていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と外出(外泊)時には本人が希望された場所や実家に連れて行って頂ける様、声かけをしている。また、友人・親戚の方も来設して頂ける様、努めている。		電話や手紙でやりとりをし関係を保てるよう努めていく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	難聴の為コミュニケーションが困難な場合もあるが、その際は職員が間に入るなどし良い関係でいれるよう努めている。		日々の関わりの中でお互いを思いやる姿も多々みられる。継続できるよう努めていきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	本人・家族の意向に応じて電話でのやりとり等にて支援している。		その際には利用者・家族に合った支援に努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションを通して希望や思いを引き出せるよう努めている。	コミュニケーションを密にとり本人の真意の把握に努めたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・面会者との会話を通して情報収集に努めている。	今後も少しずつ情報収集しケアに役立てていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ミーティング・カンファレンス・申し送り等で把握するよう努めている。	全職員が把握しケアにあたるよう情報の共有の徹底に努めていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを全職員協力の下で行い作成に役立っているが、意見収集が十分でない部分もある。	○ 本人・家族・職員での話し合いの場を多く持ちよりよい計画作成を実現できるよう努めていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化時には再度作成に努めている。	○ 変化に柔軟に対応できていない時もある為、情報収集、意見収集を速やかに出来るよう努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子の変化があった際には個別に記録をし記録と申し送りで情報の共有を図ると共に介護記録の見直しもしている。	○	全職員がわかる様、簡潔に記入し介護計画に反映していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている (小規模多機能居宅介護)			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事の際には地域の舞踊会の皆様や近所の小学生に來設して頂いている。		利用者・地域に合った形で地域資源の活用に努めていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて連絡を取れるよう努めている。必要に応じて利用を勧めている。	○	他サービスの把握をし、有効に活用していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き協力をお願いしている。		連絡を取り合い必要時には対応できるよう努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の意見を聞き、納得・信頼できるかかりつけ医で医療を受ける事が出来るよう努めている。		本人・家族が安心して受診できるよう支援してを続けていきたい。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	市内の病院と連携を図り必要時には迅速に対応できるよう努めている。		これからも良い関係が継続できるよう努めていきたい。
45			
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には顔なじみの職員が面会に行き少しでも安心して頂ける様、努めている。	○	入院の際には病院との連絡を密に取り情報交換に努めていく。入院にならないよう主治医による往診、日々の健康管理や事故防止に努めている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向け家族、主治医と話し合い本人にとって1番望ましい場所を選んでいる。		家族との話し合いにて決定し情報の共有に努めている。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族へグループホーム内で出来る事、出来ない事を説明し理解・納得して頂いた上で終末期を迎えている。		理解を得た上で、主治医と連携し指示のもとで関わっている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族と職員と十分に話し合いを行いながら、出来るだけダメージを少なくできる様に努めている。</p>	<p>職員だけでは難しい事なので家族の方にも協力依頼し実施していく。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーを損ねない様、配慮し意識しながらケアに当たっている。記録等の個人情報については十分気をつけ扱っている。</p>	<p>○</p> <p>外部には出さない様に十分に気をつけている。保管場所にも随時検討する。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>自分の思いや希望を表現できる様、声かけや雰囲気作りをしている。なかなか表現出来ない方には日々の会話の中で引き出すよう努めている。</p>	<p>利用者の自己決定を基本とし今後もケアに当たっていききたい。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々に合わせて支援している。まれに希望に添えない時もその都度、対応を変え支援している。</p>	<p>○</p> <p>利用者のペースを崩さず過ごせる様、支援できるよう意識して取り組んでいきたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>本人希望時には理容・美容室へ出かけている。お金を気にする利用者には本人や家族の了解のもと職員が散髪を行う事もある。</p>	<p>今後も本人の希望に沿って行っていききたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		利用者1人1人の好みに応じた食事の提供に心がけていきたい。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		随時、医師と相談のうえ進めていきたい。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		失敗時にもショックを軽減するよう声かけに注意していく。トイレのサインを逃さないよう個々に合った誘導を今後も続けていきたい。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴を楽しみにしている利用者も多いので今後も本人の希望通りの支援を続けていきたい。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		不眠などの訴えの際には家族、医師と相談している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	○	1人1人に合った役割や楽しみを見つけ支援に繋げていけるよう努めていきたい。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	お金を持っている利用者もいるが、それ以外の方は施設で立て替えにて対応している。		買い物希望時には同行し、お金を渡し本人に払って頂けるよう支援している。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	出来るだけ希望時には外出している。外出希望のない利用者にも声かけし散歩などで気分転換を図れるよう支援している。		冬は引きこもりぎみになってしまうがドライブなどで気分転換できるよう努めていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	計画を立て他利用者と一緒に外出している。施設行事(外出)に家族の方も一緒に行くとはまでは至っていないが、家族と利用者での外出はある。		今後も施設行事として外出の際には家族の方にも声をかけ参加して頂けるよう努めていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	本人希望時には電話や手紙の支援を行っている。	○	字の書ける利用者には手紙でのやりとりもできるよう支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	気軽に立ち寄って頂けるような環境作り楽しい時間を一緒に過ごせる様、努めている。		今後も、立ち寄って頂ける様、職員からも積極的にアプローチしていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について勉強会などを通し理解に努め日々のケアに活かしている。		今後も定期的な勉強会などで知識の向上に努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>今後、鍵をかけず取り組めるよう話し合いを重ねていきたい。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		<p>今後も利用者のプライバシーに配慮しながら安全に過ごして頂けるよう努めていきたい。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>自己管理不可能な方には希望時に貸し出す形で対応している。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		<p>全職員が緊張感、責任感を持ち日々の業務に取り組み事故防止に努めたい。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>定期的な訓練を設け取り組んでいきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>2ヶ月に1度は避難訓練を実施し利用者を確実に避難誘導できるよう訓練を重ねていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時や電話等で会話の際には現在の状況と共にリスクについても説明・相談している。		早めに家族と話し合いの場を設けリスクについて話し合えるよう努めていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々のバイタルチェック・状態観察をもとに異常の早期発見に努めている。異常時には他職員にも申し送り、必要時には主治医に報告し早めの対応を心がけている。		今後も早めの対応を心がけケアに当たっていききたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬処方時には確認し理解に努めている。処方せんは随時確認できるよう保存している。		不明な部分は医師や看護師に確認し理解できるよう努めていきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取量を確認、記録し取り組んでいる。毎日の体操を通して運動に取り組んで頂いている。排便チェックをし医師や看護師に報告している。		状態を見て医師や家族に相談のうえ下剤などの処方に繋げている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後は口腔ケアの声かけ、誘導を実施している。毎日の入れ歯の洗浄をし清潔保持に取り組んでいる。		職員や歯科受診にて定期的に口腔内の観察を行っている。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録し確保できるように努めている。食事内容については本人の好き嫌いを考慮し献立や調理の工夫で対応している。		水分量が少ない方が多い為、1日の中で調整や工夫が必要である。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種を全利用者、職員受けている。外出時、食事前の手洗いうがいの実施を徹底している。面会者にもアルコール消毒をお願いしており感染防止に努めている。	○	感染症についてのマニュアルはあるが、定期的な勉強会の実施も行っていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所に入る際には履物を履き替える、調理時には専用エプロンと三角巾の着用を徹底している。調理器具の消毒も毎日行っている。		2日に1度、買い物に行き鮮度の良い食材の使用を心がけている。賞味期限については買い物時や調理時に確認し全職員に周知している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	閉鎖的な作りの為、なるべく明るく開放的に感じていただけるよう努めている。		玄関が暗く閉鎖的な印象を与えがちなので掲示物などを工夫していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下には季節感のある掲示物を飾り工夫に努めている。利用者が心地よく使用できるように随時検討し実施している。ほとんどの利用者が食事を楽しみにしている為、毎食のメニューを掲示している。		今後もその時々状況に応じて対応していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室には1人なのでホールに来られた際には孤独感を感じる事なく過ごせるよう努めている。気の合う利用者同士で談話できるよう席替え等の変更も行っている。		自由に気ままに過ごせる様1人1人に合った環境整備、居場所の確保に努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時には馴染みの物を持ってきて頂き使用して いる。家具配置については状況に応じ本人や家族 と相談しながら配置、変更を行っている。</p>		<p>その利用者の状態に合わせて随時工夫していき たい。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p>	<p>換気、温度には注意している。特にポータブルト イレを配置している居室は空気がよどみがちな 為、こまめに換気を行っている。換気では不十分 な場合には消臭剤なども使用している。</p>	○	<p>冬は特に乾燥する為、利用者には加湿器の使用を 呼びかけている。</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している</p>	<p>安全の為にも手すりを使用できるよう障害となる 物は置かないよう注意している。</p>	○	<p>利用者の身体機能の変化に伴い浴室の手すりを増 やす事、検討中。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している</p>	<p>わかる力を活かし毎日の日めくりカレンダーの交 換をして頂いている。利用者の力を把握し無理の ない程度の支援に努めている。</p>	○	<p>もっと自分の持てる力を出し生き生きと過ごせる 様、工夫が必要である。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている</p>	<p>畑を利用し、きゅうり・ナス等を植えてから収穫 などで支援している。</p>	○	<p>特定の利用者のみ参加する傾向がある為、他利用 者の参加あるいは他の活動への参加を促してい きたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	⑤その他 ()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	⑤その他 ()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 ()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 ()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 ()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 ()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 ()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	⑤その他 ()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	⑤その他 ()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ⑤その他 ()
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない ⑤その他 ()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・近くに小学校、公民館があり子供たちや近所の舞踊会の方々がボランティアで来設して下さる機会が多々ある。
- ・グループホームと小規模多機能居宅介護施設が併設しており、交流の場が多い。小規模多機能を利用しながらグループホーム入居待ちも可能。
- ・畑があり季節に応じた野菜の収穫をしている。